

刻み痕



この鎮守府に姉さん達と来てどれくらいになるでしょう…

いつてきます。司令官さん…。

艦娘としてここに来て…
そして司令官さんと出会ってからの日々…

やさしいあなたの存在に
満たされる生活は本当に
幸せな毎日です…。

幸せすぎてまるでこの毎日
があたりまえのように続くと
思っていました…。

それは後に
判明した事…

ただの輸送任務のはずが突然の
会敵戦となりたどり着いた先は

敵が待ち伏せをしていた海。
そこはわたしの船の記憶
が途切れたあの海でした。

その待ち伏せにより、
わたしは艦装も身体も
大破同然で…

轟沈…そんな言葉が
頭をよぎりました。

ああ…姉さん達の声も
もう聞こえない…

耳を引き裂く
爆音もまるで遠くの
ように…

痛い…怖い…
苦しい…

わたし…ここで…
沈む…この海で
やっぱりわたしも？

嫌だ…
絶対だ…
に嫌!

羽黒？やめろ！そんな
状態で撃てばおまえも！

全砲門……
開いてください！

こんなところで
終れない！

かすかに聞こえた
那智姉さんの制止

崩壊寸前のこの艦装で
最大火力の主砲を撃てば……
きつとわたしもろとも……

わかっていました。

それでもわたしは！

ガッガッ

姉さん達みんななど
帰る！

司令官さんのいる
あの場所に帰ってみせる！

司令部へ…敵殲滅…
しかし…

沈むな！羽黒！
オオ！

羽黒…ダメだ…
こんなの…！

姉さん…
司令官さん…

わたしは…
もう…

000



はい、追加の書類お願いねー

えーいいアイツら毎日こんな書類地獄してたのか……!!

……休暇してるあの子達呼び戻す?



はぐツ!

—1ヶ月後—



戦った羽黒も目覚めるのをずっと待っていた司令官にもハードな一ヶ月だったろう



馬鹿な……あいつらには無理にでも休んでもらわないとな



あの二人はその時間を楽しんでいるからな



戦いはまだ続く……だが今なら時間もある

そういえばあの二人
が向かった先って

悪い、やっぱり狭いな。
まあ鎮守府の風呂に比べる
のもなんだけど……

ああ那智姉さん
忙しくて聞けて
なかったっけ

二人して司令官の
実家でゆつくり
過ごすって言ってたわよ

やっぱり適当な宿に
したほうがよかったか？

そんなことないです
司令官さんの実家
って思うとその……



なんだが新婚さん
みたいで楽しいです。

そっかそっかあ
はは……

もう……痛みとかは
大丈夫なのか……傷……

すこし「新しい部分」
が引きつりますけど
もう大丈夫です。

羽黒……

チャプ

ズキ……

痛かったよな…
怖かったよな…
ごめん…ごめん

そんな、司令官さんは
なにも悪くありません

わたしがここに帰って
おかげだから…あなたの

「沈む」って…すごく
怖いんです…もがいても
暗い海に沈んでいくあの感じ

目の前で手を伸ばして
くれた姉さん達が見えても
わたしは何もできずに…
沈んで…

それでも…戻ってこれたのは
必死になって助けてくれた
姉さん達のおかげ…

そして…

わたしの心と身体に残っていた
あなたの事を思えたから…



目の前にあなた
がいてくれた……

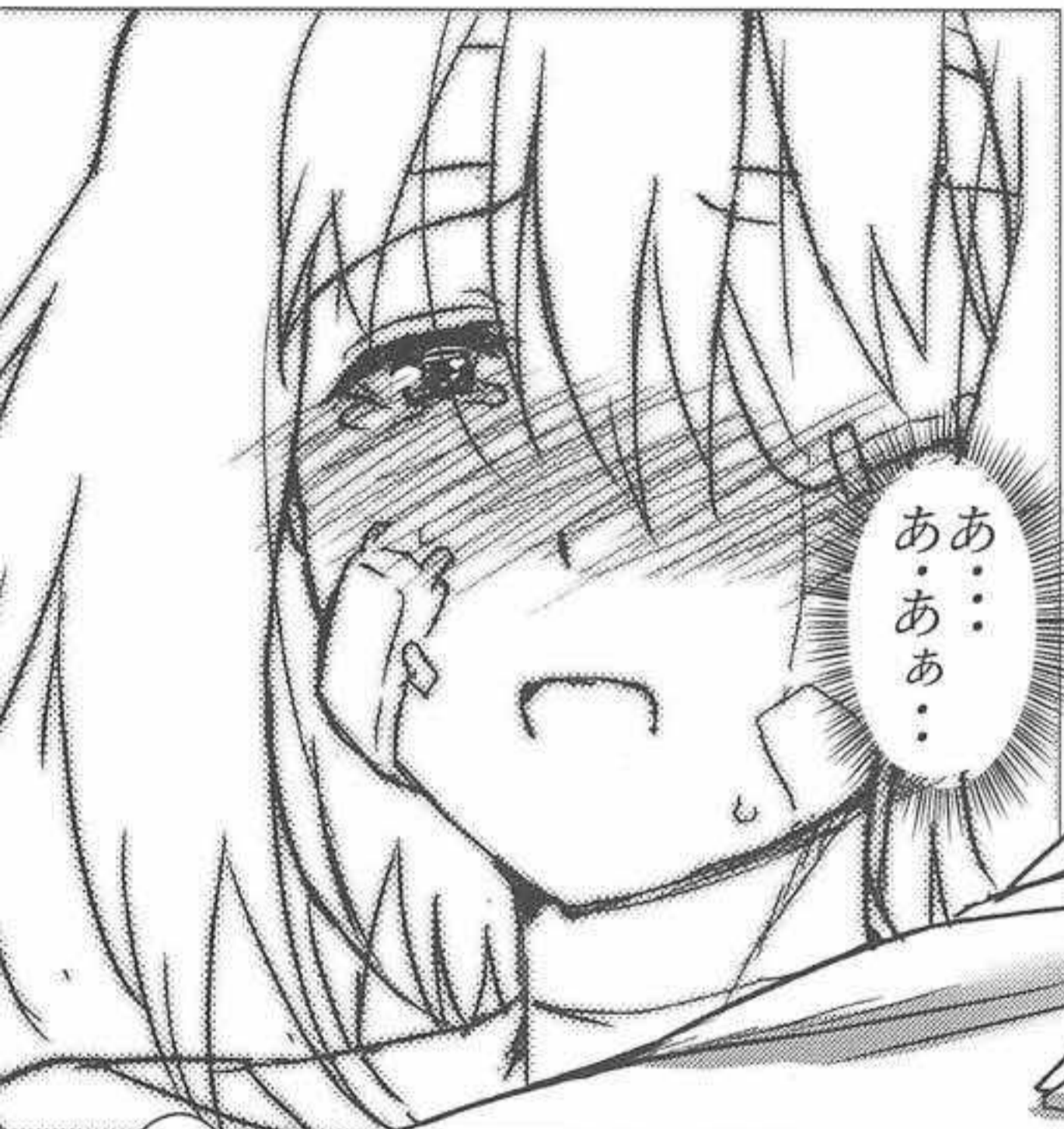
司令官
……さん？



必死になってあなたに縋ろうと
して……あの病室で目が覚めて

わたし……
沈んで……

一度沈んだわたしが眠っている間、
暗い海の夢、あなたの事が何度も
目に浮かんで……でも届かなくて



あ……
あ……
あ……



生きてることが、帰って
これたことが実感できた……

痛くて苦しくて
わたしわたくしっ

怖かったあ！
怖かったあ！

もう逢えない、もう話せない、
もう抱き合えない。そう思っ
ていたあなたに抱きしめられて





大好きです司令官さん……
あなたのことが大好き。
だから戻ってこれた……
だからいまもここにいられる。

こんな……傷だらけになった
わたしでも……これからも
一緒にいさせてくれますか？

いいに決まってるだろ……
羽黒はおれの嫁なんだ……！



頼まれたって放すものか……
俺たちはずっと一緒だ

司令官さん……！

あの二人だがなあ
足柄。

すると思うか？
あの二人がゆったり
休養とか

えーそれは無理よ
あのふたりだし

病み上がりだぞ？

病み上がり
だからこそよお

涼しい風の吹く
夕方...

羽黒...射精すぞ！
しっかり受け止める！

はいっ出して！
このまま膣に
射精してください！

ああ...感じるう。
司令官さんのおちんちん
からいつぱい...

わたしのなかに...
いたぱいの射精てます

わたしと司令官さんは
陽も落ちない中、自然に
お互いの身体を重ねました



離れていた時間を埋めようとしたら、求め合いました。忘れてしまった

あなた
司令官さん……♡

羽黒は俺のお嫁さん
世界一だから

羽黒……綺麗だよ。傷
ついていても何も
変わらない……

ブホッ

まっすぐわたしを見つけて、
何度も綺麗って言ってくれて、
嬉しかった……

傷だらけのわたしの身体中に
司令官さんは優しくたたき
キスをしてくれました。

戻ってきた……
よかった……!

ドクドク

キゅ

すいや羽黒のこの腋毛、
すつけえエロイからつい……

ひやつ司令官さん
そんなところにまで

俺のためでいたの？
剃らないでいたの？

はい、司令官さん
にいつぱい喜んで
ほしいから……

嬉しいよ……
羽黒はやつぱり
最高のお嫁艦だ

夜になつてもわたし達
はひたすらに互いを
求めあい愛しあい……

キュン

ゾクゾク

ハッ

ハッ

しゅあ

ヴォ

ブル

アハ

アハ



腔内はもうあの人の
精が溢れだし、そして
また注がれ、絶頂
と余韻を繰り返す

あああ

一気に……
イクぞー!

は、はい!

じゃあ今度は羽黒に
しつかり俺ので喜んで
もらうからな。



どうだ羽黒……俺のかたち
ちやんと感じてるか?

はい、あなたの奥まで
届いて、わたしの子宮で
ちやんと感じてます

司令官さんのかたち……
たくましく……わたしの
奥まで貫かれるこの感じ

わたしの胸に刻み込まれた
あなたのかたち、あの冷たい
海でも忘れずにすんだこの
腔内を満たす幸福感……

わたし……生きてる
生きて……またあなたに
愛してもらってる!

グポ

ぎゅ〜

ニキ



羽黒：…もう…もう遠くに行こうとしないでくれ…

ドクン
グキョ

ドクン

夜が明け、陽が上りきる頃わたしたちは延々と続いていた愛欲の余韻に浸ってました。

グキョ

ブル…

愛する男性の鼓動と息遣い、身体を包む体温と感触、私の膣内で脈うつ快樂の残滓

何もかもが愛おしく私が生きていることを証明してくれる…



わたしは艦娘です…そして戦場に行き、身を投じる

必ず…俺の隣に帰ってきてくれ…

はい…司令官さん…!

戦いが続く限りずっと…ずっと

でも……きつと大丈夫……。
わたしの心と身体にあなた
が刻まれている限り……

これから必ず、
必ず帰ってきます！

必ずわたしをこの場所に、
あなたがいるここに
導いてくれるから……。

司令官さんとずっと……
ずっと一緒です！

き静い
つつか
となか
：海み
：が
：。見な
れるで
：：
その日
まで

補足と解説

今回の羽黒の症状は「高速修復剤」の効果が得がたいほどの重傷によるものである。本来ここまで「損傷」した艦娘は戦力外として「轟沈」と記録され処理されるが彼女の姉達の尽力と鎮守府に備えていたありったけの資材によりかろうじて命だけでなく五体も再生された。右腕部と胴体右の損傷跡は修復剤でも痕が残るほどの損壊であったことを示しているが時間による自己治癒と修復剤の定期使用により痕は薄まるとは思われる。なお、沈んだ彼女を救いだしたのは艦装をパーズした那智の尽力である。

あとがき

メ切り数時間ですが皆様お久しぶりです。真っ赤なケダモノです。
今回は前から描きたかった「羽黒轟沈」の回避ルート話です。
戦闘シーンと復帰、怪我の表現など難産でしたかが描けてよかったですと思います。
次回はこの話の続きかおもいっきり路線変えた以前のイチャラブエッチな内容に
また戻ろうかとかいろいろ考えてますがいずれまた。
すこしでも楽しんでいただけたら幸いです！

2018年8月真っ赤なケダモノ

●奥付●

誌名：刻み痕

発行日：2018年8月12日

コミックマーケット94

発行者：真っ赤なケダモノ

発行サークル：ケダモノ屋さん

印刷：株式会社 緑陽社様

ご感想、連絡はこちらまで。

Email:circlekedamonoyasan@xmail.plala.or.jp

Twitter: @akaichikushou

Pixiv:https://pixiv.me/akaikedamono

18歳未満の購読、閲覧を禁じます。
無断転載、無断複製、ネット等へのアップロードを禁じます、
オークションへの出品を禁じます。
本書の内容はすべてフィクションです。

サークルケダモノ屋さん



18歳未満の購読、閲覧を禁止します。
無断転載、無断複製を禁止します。